

平成21年度 決算書

町の家計簿

ダイジェスト版

「北緯45度 癒しの里」

ロマン息づく大自然の町-中頓別



目次

平成21年度決算状況	2
監査委員の決算審査意見	15
人事行政の運営等の状況	20
企業会計的手法（バランスシート、行政コスト計算書）	23

平成22年12月
中頓別町

平成21年度各会計の決算額は、下記のとおりです。

一般会計では、財政の早期健全化を確実に推進していくため、「財政健全化計画」や「公債費負担適正化計画」を基本として勤勉手当等の凍結や退職者不補充などによる人件費の削減や地方債を必要とする普通建設事業の抑制による公債費（借金の返済）の縮減を行った結果、経常経費は減少したものの国の財源による地域活性化事業や雇用対策事業を実施したことにより総額では前年度比8.1%の増加になりました。

収入では、人口減などにより町税が年々減少していますが、財政力の弱い地方自治体を支えている地方交付税が前年度比4.7%増（10,563万円増）と昨年に引き続き大幅な増加となりました。

一方、支出では、人件費が前年度比3.9%減（1,902万円減）や公債費が前年度比2.4%減（2,397万円減）など経常経費が減少したものの、地域活性化事業により地方債を必要としない普通建設事業が前年度比28.5%増となりました。

国の経済対策による事業を実施したことにより、決算が前年度と比較して増加していますが、地方交付税の増加や経常経費が減少したことにより積立金（貯金）が前年度比59.5%増となっています。

財政健全化法による健全化判断比率の指標の一つである実質公債費比率が25.6%と国が定めた早期健全化基準の25.0%を超えているため、まだまだ支出に占める公債費の割合が高い状況にあります。平成22年度決算では基準を下回る予定であり、町民の皆様新たな負担増などの迷惑をかけないように着実に、健全化に向けて取り組んでまいります。



各会計ごとの決算状況

会計の名称		会計の内容	収入	支出
一般会計		町の一般的な仕事をする会計で下記の会計を除いたものです。	36億3538万円	35億4695万円
自動車学校		教習生の授業料などを収入に普通自動車免許、大型特殊免許の教習を行っています。	3107万円	3103万円
国民健康保険		国民健康保険税などを収入に加入者の医療費の給付などを行っています。	3億3565万円	3億3502万円
老人保健		支払基金からの医療費交付金などを収入に老人医療費などの給付を行っています。	277万円	250万円
国保病院	収益的収支	医療収益を基に町民への医療サービスを行っています。	4億8106万円	4億6936万円
	資本的収支		4722万円	6950万円
水道		水道使用料を収入に浄水場などの維持管理と町民への給水サービスを行っています。	7939万円	7881万円
下水道		下水道使用料を収入に終末処理場の維持管理と下水道サービスを行っています。	1億1552万円	1億1532万円
介護保険		介護保険料などを収入に要介護認定を受けた方に介護・支援サービスを行っています。	1億8095万円	1億7101万円
後期高齢者医療		老人保健制度に替わる制度で、保険料などを収入に広域連合などの負担金の支払いを行っています。なお、医療費などの給付は全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が行っています。	2365万円	2302万円
合 計			49億3266万円	48億4252万円

財政健全化法による健全化判断比率及び資金不足比率

◆財政指標（1）

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	25.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	68.8%	350.0%	

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しません。

実質赤字比率

福祉や教育、観光や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

◆財政指標（2）

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険病院事業	—	20.0%
水道事業	—	
下水道事業	—	

※いずれの会計も赤字がないため、比率は発生しません。

資金不足比率

それぞれの公営企業会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの

実質公債費比率

平成19年度～平成21年度の3カ年平均

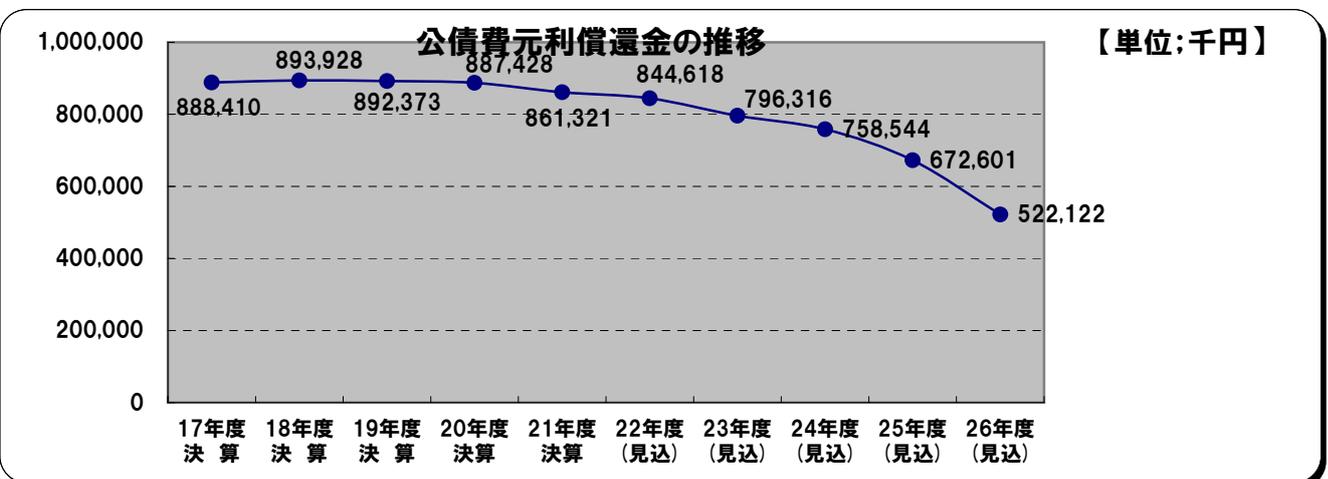
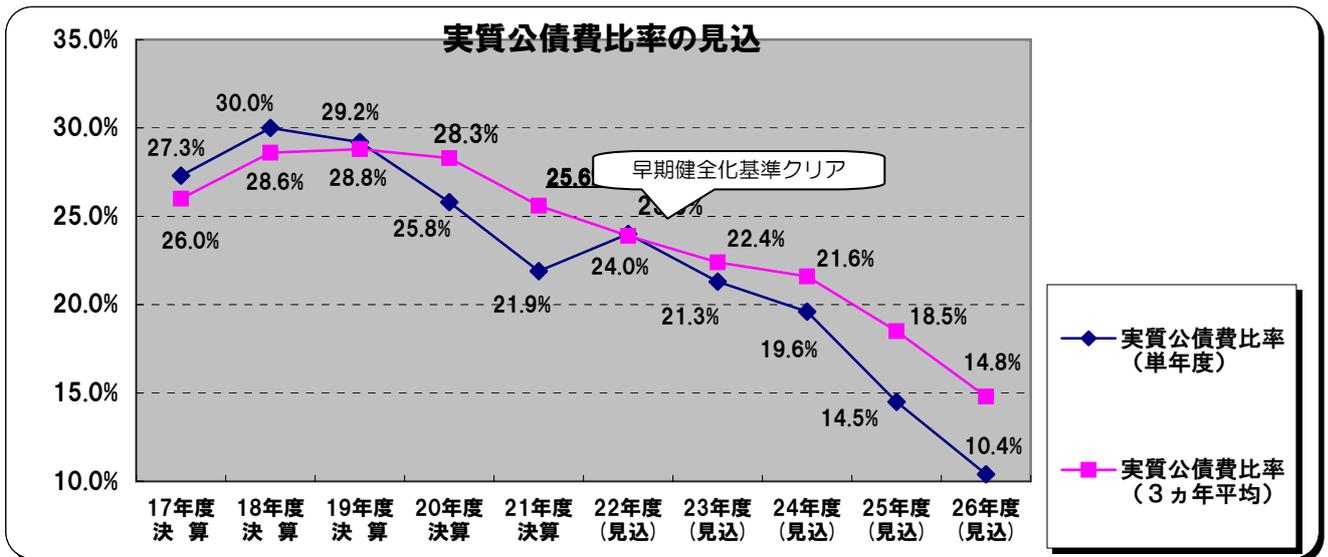
25.6%

実質公債費比率とは、町の収入に対する町全体の借金返済額の比率を示す財政指標です。

今年度については、昨年度の実質公債費比率28.3%より2.7ポイント減少しました。財政健全化法による健全化判断比率の実質公債費比率は3カ年平均で公表されます。平成19年度が高い水準であったため、早期健全化基準を若干上回っています。

早期健全化基準は、平成23年度に公表される3カ年平均（平成20年度～平成22年度）でクリアできる見込みです。

今後も引き続き地方債借入額を最低限に抑え、公債費負担の軽減を図っていきながら、早期健全化基準である25%はもとより、国の制約を受けない協議団体に移行できる18%を1年でも早くクリア出来るように、財政運営の健全化に努めていきます。



※ 公債費元利償還金は、決算統計のルールに従って算出した推移ですので、決算の数値とは異なります。

なかとん 中屯真

さんちの

収入

1ヵ月の収入合計 36万3千円 (32万5千円) の内訳

一般会計を
1世帯あたりに例えた場合

給料 (83.5%)

30万3千円 (27万円)



基本給 1万7千円
町税
1億7千万円

能力(歩合)給 23万3千円
地方交付税 地方譲与税などの国 からの交付金 23億4千万円

手当 5万3千円
国庫支出金 道支出金
5億3千万円

預金引き出し (2.2%)

8千円 (3千円)

繰入金 8千万円

パート収入 (5.0%)

1万8千円 (1万9千円)

使用料・手数料など 1億8千万円

ローン借入れ (7.7%)

2万8千円 (3万2千円)

町債 2億8千万円

前月からの繰越金 (1.6%)

6千円 (1千円)

繰越金 6千万円



今年は、給料が増えたことや今年のために昨年預金しておいたおかげで、ローンの借入れが最小限で済んだので良かった。これからも、できるだけ借金をしないで、今後のために貯金もおろさないようにがんばろう。

※ () 内は平成20年度の金額

家計簿

【1ヵ月の計算方法】(例)
平成21年度収入→36億4000万円
×1/836(世帯数)÷12ヵ月=36万3千円

支出

1ヵ月の支出合計 35万4千円(31万9千円)の使い途



家賃・光熱水費(23.2%)

8万2千円(5万円)

総務費
8億2千万円



医療・衛生費(8.5%)

3万円(2万9千円)

衛生費
3億円

衣料・食料費(13.8%)

4万9千円(4万9千円)

民生費・農林水産業費・商工費
4億9千万円

子供の学費(4.5%)

1万6千円(1万8千円)

教育費
1億6千万円

家や道路の整備代など(5.4%)

1万9千円(2万1千円)

土木費
1億9千万円



その他(15.5%)

5万5千円(4万円)

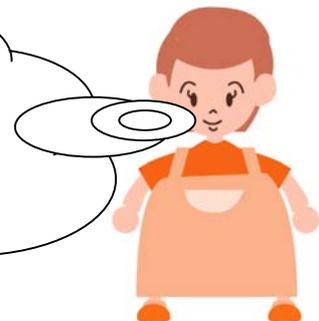
議会費・労働費・消防費など
5億5千万円

ローン返済(29.1%)

10万3千円(11万2千円)

公債費
10億3千万円

今年は、家賃や光熱水費が上がって大変だったけど、夫の給料が増えたおかげで貯金を崩さなくて済んでよかったわ。まだまだローンの返済が重くのしかかっているし、夫の給料も不安定なので、これからも節約してがんばらなきゃね。



特別会計への繰出金



総額 3億5,886万円

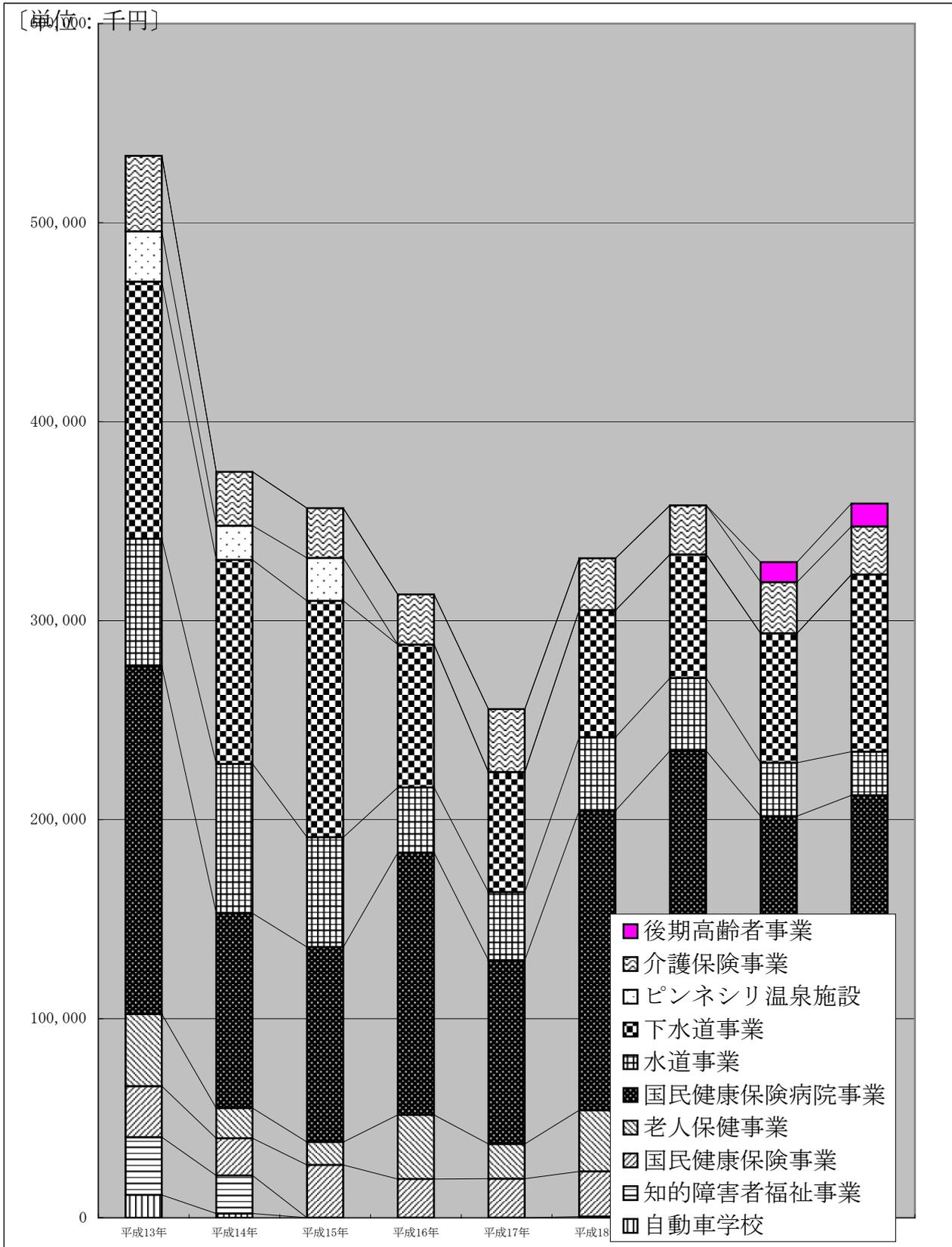
(対前年比 2,944万円増えました)

特別会計は独立採算性が基本です。お金が足りない場合は、一般会計の仕事を我慢してもらって繰り出すことになります。つまり、市民の皆様へのサービスを一部我慢してもらうことになります。この繰り出しが多いことは健全な財政とはいえません。ただし、特別会計繰出金の中には国の制度により繰り出すもの（ルール分）があります。このルール分は削減できませんが、それ以外の不採算運営費（赤字）に伴う繰出金の削減が、財政の早期健全化のための重要な課題といえます。

	平成21年度	平成20年度	増減
☆ルール分のみ繰り出しの会計			
●老人保健へ	14万円	232万円	▲218万円
●水道へ	2194万円	2682万円	▲488万円
●介護保険へ	2415万円	2573万円	▲158万円
●後期高齢者医療へ	1154万円	1007万円	147万円
☆不採算運営費補てんのある会計			
●自動車学校へ	470万円		皆増
うち不採算分	470万円		皆増
●国民健康保険へ	2164万円	1497万円	667万円
うち不採算分	700万円		皆増
●国保病院へ	1億8575万円	1億8451万円	124万円
うち不採算分	1億62万円	1億4244万円	▲4182万円
●下水道へ	8900万円	6500万円	2400万円
うち不採算分	4834万円	1510万円	3324万円

(単位：千円)

事業名	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
自動車学校	11,450	2,100	—	—	—	—	—	—	4,700
知的障害者福祉	29,000	19,100	—	—	—	574	—	—	—
国民健康保険	25,654	18,743	26,538	19,438	19,648	22,679	53,607	14,970	21,641
老人保健	36,199	15,100	11,500	32,262	17,400	30,808	22,230	2,323	140
国保病院	174,780	97,895	97,978	131,712	92,316	150,516	158,714	184,511	185,749
水道	64,100	75,052	55,149	32,763	34,268	36,861	36,600	26,814	21,936
下水道	129,100	102,500	118,800	71,800	60,300	63,800	62,050	65,000	89,000
ピソネリ温泉	25,300	17,200	21,551	—	—	—	—	—	—
介護保険	37,943	27,119	25,059	25,200	31,617	26,099	24,763	25,732	24,147
後期高齢者医療								10,072	11,543
合計	533,526	374,809	356,575	313,175	255,549	331,337	357,964	329,422	358,856



平成1年度に行った主な事業

■道路

- 中頓別弥生線道路改良整備事業 **4,300万円**
改良 100m
舗装 325m
(旧弥生ゴミ捨て場から国道に向ったところ)
- 1条通り線道路整備事業 **6,310万円**
改良・舗装・歩道 190m
(大畑さん宅の前から西団地高齢者住宅までの区間)
- 8丁目線道路整備事業 **4,390万円**
改良・舗装・歩道 188m
(裁判所前から小学校入口までの区間)

■農業

- ※耕作道取付道路拡幅事業 **1,970万円**
農業の生産性向上や経営の安定化のため、農作業効率促進につながる大型機械導入対策を図りました。

■林業

- 森林管理道弥生線開設事業 **3,420万円**
今年度は、尻無川の横断箇所から弥生の町営牧場方向に約500mまで開設を行いました。

■観光

- ※ピンネシリ道の駅改修事業 **1,413万円**
道の駅の集客力と利用者へのサービス向上を図りました。

■教育

- ※安全安心な学校給食施設整備事業 **2,472万円**
安全安心な学校給食を提供するため、老朽化が著しい給食センターの一部を改修しました。

■その他

- ※そうや自然学校宿泊研修施設整備事業 **2,849万円**
体験型観光及び子ども交流プロジェクトなどの活性化を推進するとともに、地域の雇用やコミュニティ機能の再生を図りました。
※は国庫支出金による地域活性化事業

紙面等の都合により、臨時的かつ金額の大きい事業のみ掲載しました。なお、詳細の資料を希望する方は中頓別町役場総務課総務グループ財政担当までご連絡ください。また、中頓別町ホームページでの詳細資料を掲載しておりますので御利用ください。

中頓別町HPアドレス

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>



一般会計

公共事業費の推移



借金（一般会計）

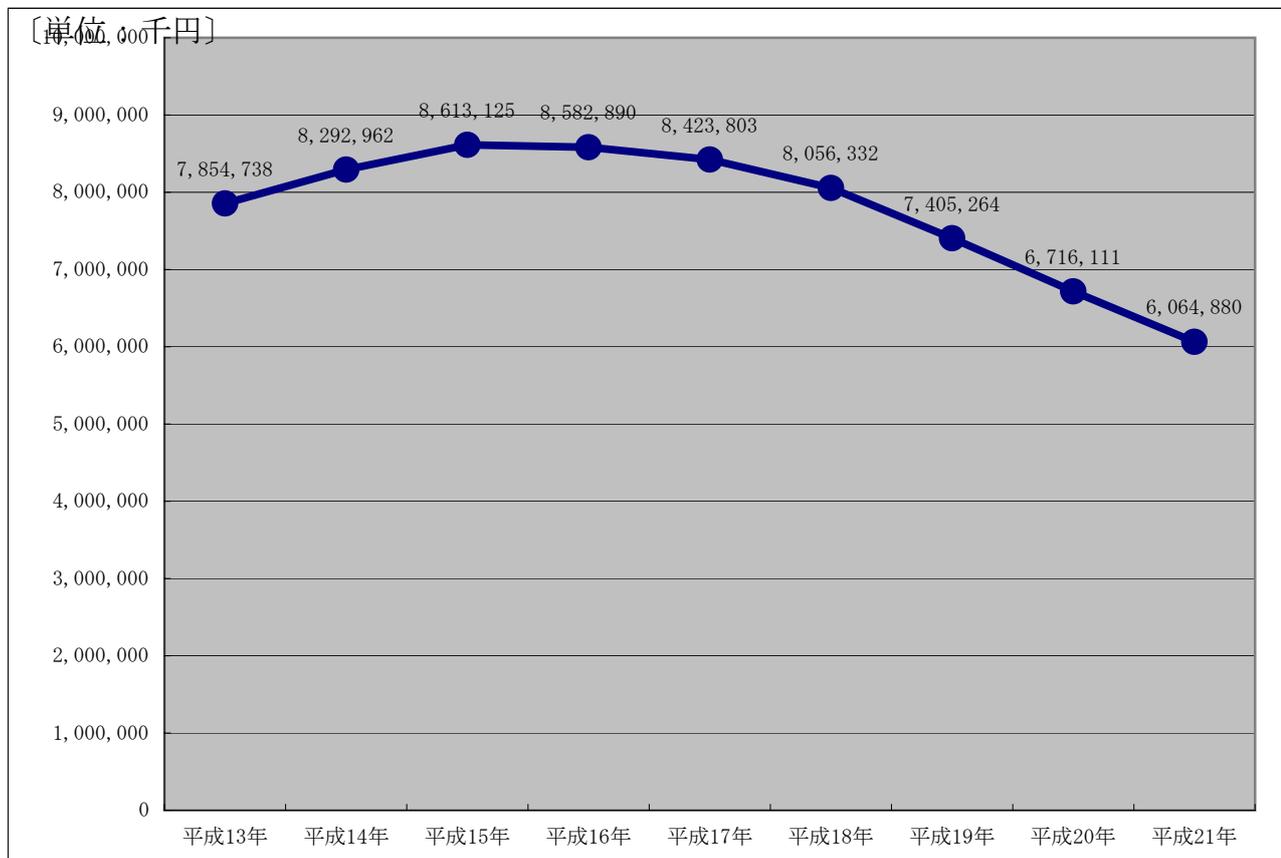


60億6488万円

(対前年比 6億5123万円減りました)

平成20年度末 地方債残高 +	平成21年度 借入高 -	平成21年度 返済高 =	平成21年度末 地方債残高
67億1611万円	2億7980万円	9億3103万円	60億6488万円

中頓別町のこれまでの借入金残高の状況(一般会計)



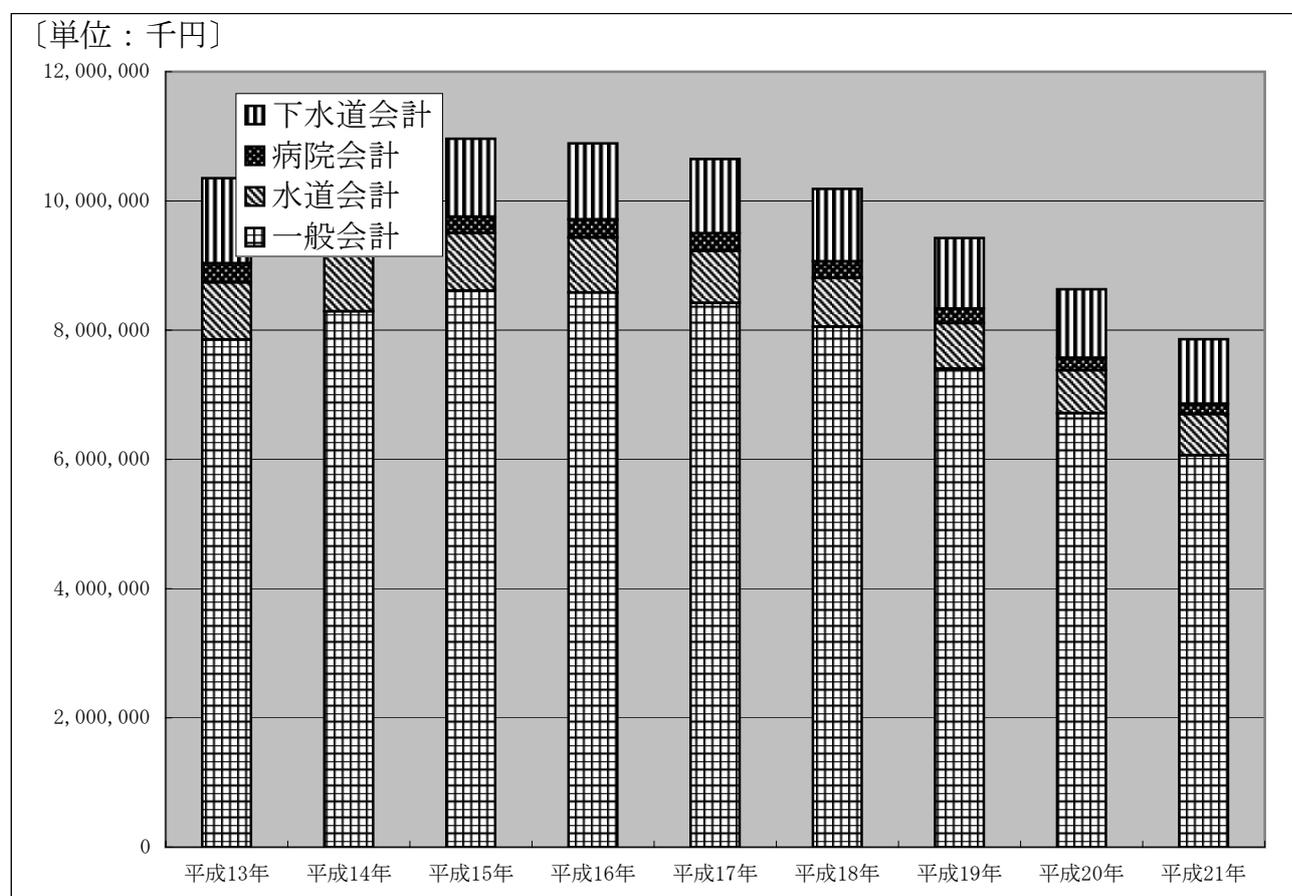
これまで増え続けてきた借入金残高が、ピークを過ぎ徐々に減少に転じています。このことは公共事業を抑制したことの効果によるものです。これらの借入金のうちの多くは、返済額の一定割合を地方交付税で国から交付されるしくみになっています。たとえば、もっとも借入額が大きい「過疎債」では、元利償還金の70%が地方交付税で補てんされます。町は公共事業を実施する場合、こうした有利な「借金」を活用するように工夫してきました。

借金 (全会計)

78億5891万円
(対前年比 7億7548万円減りました)

	平成20年度末 地方債残高		平成21年度 借入高		平成21年度 返済高		平成21年度末 地方債残高
一般会計	67億1611万円	+	2億7980万円	-	9億3103万円	=	60億6488万円
水道会計	6億6517万円				2958万円		6億3559万円
病院会計	1億9306万円		940万円		4186万円		1億6060万円
下水道会計	10億6005万円				6221万円		9億9784万円
計	86億3439万円		2億8920万円		10億6468万円		78億5891万円

中頓別町のこれまでの借入金残高の状況



独立採算を基本としている公営企業（水道、下水道、病院）を含めた中頓別町が支払うべき借金総額となります。昨年に引き続き平成21年度も、一般会計において過去に借入した高金利の地方債を低利に借換えをしましたので、例年より借入と返済の額が大きくなっています。（南宗谷消防組合や南宗谷衛生施設組合などの一部事務組合に対しての負担金にかかる分は含まれておりません。）

貯金

16億3970万円

(対前年比 9783万円増えました)



	平成21年度	平成20年度	増減
財政調整基金	2億1403万円	1億1368万円	1億35万円
減債基金	5億4400万円	4億7938万円	6462万円
長寿園施設改修拡張事業基金	1億3208万円	1億4101万円	▲893万円
天北線代替輸送確保基金	3億3355万円	3億5986万円	▲2631万円
畜産振興基金	2417万円	2314万円	103万円
地域振興基金	3523万円	3513万円	10万円
まちづくり基金	1億2608万円	1億2555万円	53万円
土地開発基金	1308万円	1303万円	5万円
地域福祉基金	1億1414万円	1億1380万円	34万円
中山間水と土保全基金	620万円	617万円	3万円
農林業活性化基金	5569万円	5545万円	24万円
豊かな環境づくり基金	211万円	206万円	5万円
ふるさと応援寄附基金	505万円	391万円	114万円
地域生活緊急対策基金		4000万円	皆減
介護保険給付費準備基金	2426万円	2417万円	9万円
介護従事者処遇改善臨時特例基金	162万円	162万円	
水道事業特別会計基金	841万円	391万円	450万円

財政調整基金は、地方交付税などの収入が増えたことや徹底した経常経費の抑制により支出を縮減した結果、1億35万円の増額になっています。

減債基金は、借入金返済の負担を軽減する目的で積立てられている基金です。例年、基金を取り崩して歳入歳出のバランスを取っていましたが、昨年に引き続き基金を取り崩すことなく歳入歳出のバランスが取れました。

〔コラム〕公表されている決算等の数値に相違が生じる場合があります。

この、「町の家計簿」に用いている数値、金額については、各会計での決算書の数値をもとにつくっています。

しかし、他の財政数値として公表されるもののほとんどが決算統計（地方財政状況調査）で集計された数値を使うのが一般的とされています。また、財政状況を示す数値（経常収支比率、起債制限比率、実質公債費比率など）やこの後に掲載している、バランスシート、行政コスト計算書についても決算統計で集計された数値を使っています。

各会計決算書と決算統計で集計をする場合に根拠（集計上のルール）が異なるため、数値が異なる場合が生じますので、あらかじめご了承ください。

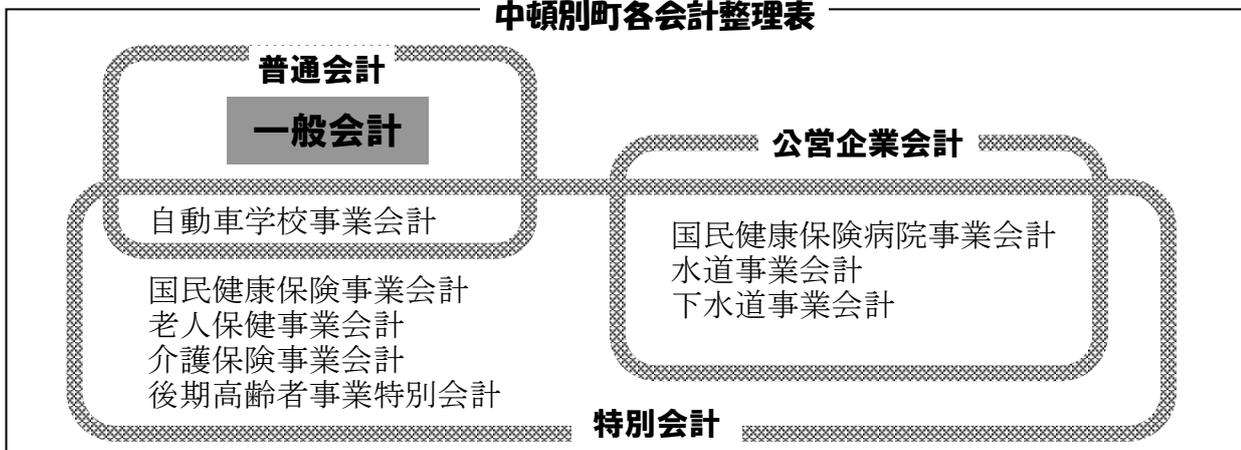
異なる内容として、一例をあげますと、現在、一般会計にて、償還（借金の返済）してる起債の一部において、水道、下水道、病院に係るものが含まれています。決算統計のルールとして、そうした費用については、それぞれの公営企業決算統計にて計上することとされているため、普通会計での決算統計では除外されているからです。また、人件費についても、予算決算では総務費にて議会、教育、水道等の特別会計を除く全ての人件費を支出しています。しかし、決算統計ではこの人件費をそれぞれの目的（民生費、土木費など）に振り分けて計上しています。こうした、ルール上の金額の組み換え、除外が数点あるため、決算上の数値と決算統計上の数値と異なるという現象が生じてきます。

さらに、各種数値について、一般会計、普通会計、〇〇特別会計、公営企業会計等さまざまな財務上の括りがあり、どこの数値を公表しているのか、その表題に必ず記述するようにしていますので、ご確認ください。

※各会計について、わかりやすく記述すると下記のとおりとなります。

今後、数値を公表する場合においては、決算統計の数値を載せています等の注釈を記述し、よりわかりやすい数値、資料の提供を行っていきたいと考えています。

中頓別町各会計整理表



※決算統計上の会計区分



発行：中頓別町

編集：総務課総務グループ

〒098-5595

北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6

TEL (01634) 6-1111 FAX (01634) 6-1155

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>